

三月定例村議会

会期 3月10日～3月19日



三月定例村議会が三月十日から十九日まで、十日間の会期で開かれました。

初日の本会議では、平田大六村長が平成二十一年度の施政方針を説明。(2～7ページに掲載)その後、四議員が一般質問に立ち、村長の考えを聞きました。

平成二十一年度の当初予算は予算審査特別委員会を設置し、二つの分科会に分かれて審議。また、条例などの案件は各常任委員会に付託のうえ審査され、当初予算と合わせて各委員長の報告を受けて可決されました。(8～11ページに掲載)ここでは、その主なものを紹介します。

条例の改正・廃止

基金条例の一部改正

* 介護報酬の改定による保険料の急激な上昇を抑えるため、市町村で基金を設けるのを条件に、国が臨時交付金を交付することになったのを受けて、条例の一部を改正するものです。

後期高齢者医療に関する条例の一部改正

* 普通徴収の方の保険料納期について、平成二十一年度も平成二十年度と同様に、七月から納付してもらうよう条例を改正するものです。

介護保険条例の一部改正

* 介護保険事業の三年に一回の計画見直しで、平成二十一年度から平成二十三年度までの「第四期介護保険事業計画」を策定したことに伴い、条例の一部を改正するものです。(改正の概要は12～13ページに掲載)

道路占用料等徴収条例の一部改正

* 道路法施行令の一部改正に伴い、条例の一部を改正するものです。

水道事業の設置等に関する条例の一部改正

* 課制条例の改正に伴い条例の一部を改正するものです。

教育構想審議会条例の廃止

* 学校統合に向けて設置した関川村教育構想審議会は、審議が終了したことから、条例を廃止するものです。

子どもの医療費助成に関する条例の一部改正

* 少子化対策のひとつで、子育て環境づくりを進めるものです。子どもの医療費について、四月から入院・通院とも小学校卒業まで助成を行うものです。

契約

森林管理道蛇喰・中束線開設工事に伴う工事請負契約の締結について

契約金額

一億九百二十万円

契約相手方

株式会社 渡辺組

工期

平成二十一年三月十七日から平成二十一年十二月一日まで（二百六十日間）

平成20年度補正予算

一般会計（第六号）

* 歳入歳出それぞれ三百六十万円を減額し総額五十四億三千七十万円とする。

国民健康保険事業特別会計

（第四号）

* 歳入歳出それぞれ二千二百十五万円を減額し総額八億千九百二十万円とする。

国民健康保険関川診療所特別会計（第三号）

* 歳入歳出それぞれ十万円を減額し総額一億千八百九十万円とする。

介護保険事業特別会計

（第三号）

* 歳入歳出それぞれ二千七十万円を追加し総額七億三千五百九十万円とする。

簡易水道特別会計（第一号）

* 歳入歳出それぞれ三百五十万円を減額し総額四千四百八十万円とする。

公共下水道事業特別会計

（第一号）

* 歳入歳出それぞれ千三百三十万円を減額し総額六億四千八十万円とする。

農業集落排水事業特別会計

（第一号）

* 歳入歳出それぞれ二十万円を減額し総額一億五十万円とする。

水道事業会計（第一号）

* 資本的収入を千七十五万円減額。資本的支出を千百五十万円減額しました。

平成21年度当初予算

平成二十一年度一般会計と特別会計、水道事業会計の当初予算

* 8～11ページの新年度予算の概要をご覧ください。

投稿

「みんなで考えよう」

地球温暖化 ④

平田 時夫（滝原）

気象の変化

三月号で、都会も田舎も二酸化炭素を減らすことができ

るかということ、計算ではおおむね同じ位だと申し上げました。しかし、これは大きな課題だけに理解しにくいと思

いますので、小さな数字である関川村の概要から考えてみましょう。

まず人口ですが、今から十年前は七千七百二十八人、現在は六千八百八十七人と約百人の減少にあります。世帯数

では、十年前は二千五十七世帯、現在は二千七十三世帯と約十世帯の増（平成二十一年一月末）です。村内の乗用車・軽自動車他すべての保有

台数は、五千六百八十八台（平成二十二年末・新潟陸運局概況資料）となっていて、

十年後はおそらく増えているはず。安価な資源として活用する化石燃料を燃やし、二

酸化炭素（CO₂）を排出し続けている現状です。

新潟県は、一人当たりの二酸化炭素排出量削減率の都道府県ランキングで第四十二位。神奈川県と岐阜県は八位、東京都は十六位となっています。

（二〇〇八年三月地方自治体の温暖化対策目標と政策に関する調査）都会は交通の便が良い、電気は他県より通電等と思われる。合点できたでしょうか？

一九九〇年頃から気温の変化が極めて顕著であり、最近三十年間で新潟県の平均気温は約二・上昇。（新潟地方気象台資料）冬季気温が二・上昇した場合、降雨発生割合月別平均気温で見ると、関川村は半分の雪になる。最近二十年間は、積雪深が大幅に低下して、平均値で一〇センチ、一九二三年から一九八六年ま

での平均値は一七四センチでした。また、農業や米への影響も大きく、二〇六〇年代になると新潟県では収量が大幅に減少になるといわれています。

農業県である新潟県、関川村は、現代農業で非常に効率が悪くなりましたが、その背景には農業への膨大なエネルギー革命がなされた。化石燃料を燃やし、二酸化炭素を排出し続けられ、地球温暖化問題が深刻化する。子孫の時代に心配がないよう、早急に手を打つべきではないでしょうか？地球を考える会（元文部大臣・有馬明人氏）が言う、「明日ではエゴは間に合わない」。もう一度皆さん考えましょう。

